

「安心・安全で快適なスタジアム」を目指す為の意見交換会

■実施日時：2014 年 4 月 23 日（水）19:00～21:20

■実施場所：ノエビアスタジアム神戸 研修室

■クラブ出席者：

- ・株式会社クリムゾンフットボールクラブ 代表取締役社長 清水克洋
- ・株式会社クリムゾンフットボールクラブ 常務取締役 安本卓史
- ・株式会社クリムゾンフットボールクラブ 試合運営グループ 来住健次

来住「それでは時間になりましたので、『安心・安全で快適なスタジアム』を目指す為の意見交換会を開催させていただきたいと思います。

本日は時間的に 19 時から会場の関係で 21 時までとなっておりますので、ご協力宜しくお願い致します。最初に参加者のご紹介をさせていただきます。

それでは最初に代表取締役社長の清水でございます。挨拶をお願い致します」

清水「みなさん、こんにちは。本日はお忙しい中、平日の夜の時間にお越しいただきましてありがとうございます。「安心・安全で快適なスタジアム」作りに向けた意見交換会ということで、本日ぜひこの対面の場で皆様のご意見もお伺いをして試合の運営にしっかりと反映をして参りたいと思います。事前にメールでもたくさんの意見を頂戴いたしました。そちらへの回答も含めて、本日お話しをさせていただければと思います。

シーズン中というタイミングではありますが、J リーグも様々な環境のなかでリーグのスタジアム運営規定の変更等が、ちょうどあったタイミングでもあります。

それから私どもとしても J1 に復帰をしまして、本当にたくさんのサポーターの方に毎試合お越しいただいております。今、年間の動員計画も検討しています。後半に向けてさらにたくさんの方にお越しいただきたいという計画をたてております。

そんな中で、安心・安全で快適という非常にベースの部分で、より一層たくさんのお客様をお迎えするにあたって、スタジアム及び試合運営として、いま修正すべきことを、ぜひこのタイミングでみなさんからご意見を頂戴できれば、クラブとしても試合運営で改善すべきところを改善させていただければということで、このような会を開催させていただくこととなりました。

重ねてお忙しいなか、足を運んでいただいたことにお礼を申し上げます。

本日は、既にスライドでお示しをしておりましたが、私どもの試合運営に関する規定・ルール等を簡単に説明させていただいた上で、事前に頂戴したご意見も含めて、こうした改善ができないかと質疑応答させていただくという流れで進めさせていただければと思います。

2 時間という時間ではございますが、ぜひ活発なご意見を頂戴できればと思いますのでどうぞよろしくお願い致します」

（会場拍手）

来住「本日は常務取締役の安本も出席しております。最後にご挨拶をさせていただきます。

本日のスケジュールですが、差別問題に対するクラブの考え方、安心・安全で快適なスタジアムを目指すために、ルールの再確認、最後に質疑応答と思っております。

それでは最初に差別問題に対するクラブの考え方、J リーグの考え方というのが一番大きいと思います。差別に関しましては、このスライドの一番上に書いてあります通り、2013 年に FIFA が差別問題に対し

てしっかりと各国で対応しなさいという通知を出しました。

それに伴って日本サッカー協会は、今年 3 月 14 日に一部、懲罰規定という罰則規定の改定をしております。この中には、もちろん一番は選手、役員、スタッフに対したことになるのですが、その中にサポーター・ファンの方に関しましても、もし差別的なものをすれば、スタジアムに 2 年間入れませんよとか、罰金とりますよというものが、日本サッカー協会の懲罰ルールに入っております。

もちろん J リーグの試合は、主催者は日本サッカー協会であり J リーグでありますので、J リーグの試合もこの規定が適用されることになっております。

その中で昨日ニュースでも出ておりましたのでご存知の方もいらっしゃると思いますが、昨日の J リーグの理事会で J リーグのルールの改定が決まりました。

従来、ルールの中には、差別や侮辱に対する文言が明確に書かれておりませんでした。規定の中には書いてあるのですが、守るべきものとしては、クラブの選手、スタッフ、関係者という表現でございました。

今回改定をされて、1 つがスライドの 1 枚目に書いておりますが、J リーグの統一禁止事項が、暴力はだめですよとか 5 つのものがありましたが、そこに 1 つプラスされました。差別的、侮辱的、もしくは公序良俗に反する言動の禁止、いわゆる差別はだめですよというものが加えられました。

それと入場ゲートに看板 1 枚しか出てないので詳しく知らないという方もいらっしゃるかもしれません。ホームページにも出していますが、試合運営管理規定という、もともと試合運営をするためにベースになっている規定があります。それに関しましても全クラブが持ち込み物禁止ということが具体的に書かれることになりました。こちら（スライド）に書いてある 4 つ、政治的であったり、2 つ目に差別的、侮辱的な内容表現を含むものが禁止事項となりました。これは昨日決まりましたので近いタイミングでクラブのホームページに改定したものをしますのでご確認をいただければと思います。

その上で J リーグとしても全体で安心・安全で快適なスタジアムを目指す為にどういうことをしていかなければいけないかというところで、まず一つは J リーグの理念の中に、お客様の安全を一番優先しなさいというものがあります。安心・安全が確保されて初めて次の快適なスタジアムというものができていくと、当たり前のことかもしれませんが、そう考えております。

それでは、スタジアムルールの確認をさせていただきます。スタジアムのルールの中に 1 番から 5 番までございます。J リーグの統一禁止事項、共通観戦マナー・ルール、ビジョンでよく流してるものです。スタジアムの試合運営管理規定、スタジアム独自の禁止事項、それとプラスして応援バナーと楽器等の使用の仕方というルールを決めております。

1 つ目の、J リーグの統一禁止事項ですが、今までは（スライドの）上から 5 つ事項が禁止事項としていました。試合前に毎回映像を流していると思いますが、今回新たにプラスとして 6 つ目の禁止事項が増えました。

それと観戦ルールとマナーに関しましても今までは応援ルールとマナーを守ってくださいという表現でしたが、そこにも赤字で書いてある真ん中のところですね、差別的・侮辱的というものはマナーとしてもやめてくださいと入っております。

それと 3 つ目の試合運営管理規定というところも、この赤字の文書が入っておりませんでした。これを今回全クラブ追加することになります。フェアプレー精神にのっとり応援をしてほしいというものと試合運営管理規定に抵触するかどうかというところは、J リーグだけではなくて、基本的には各クラブとして最終的な判断をするという文言になっております。

このあと管理規定の細かいところありますが、その中で第 4 条の持ち込み禁止物というものがございます。ここにも先ほど J リーグの方でありました内容が入ることになります。

禁止行為、これは基本的な禁止行為です。ホームページを見ていただければ全て載っている内容なので今回は割愛いたします。

それで禁止事項の中の一番最後、28、29 項で、差別とは何かというところで細かく定義があります。人種、肌の色、性別、言語、政治、宗教とか、自分では努力しても変えられないようなものに関しましては基本的には差別というふうな形で見られること、あとは侮辱的な発言も禁止してほしいということになっております。

管理規定はこの後もいろいろと続いていくのですが、この辺りは一般的によくチケットの裏とかに書いてある内容になりますので割愛いたします。

最後、第 9 条に入場拒否とか退場命令とかありましたが、今回の差別問題の事案がございまして、改定されました。いわゆる物の没収というものがなかったため、クラブで何をもとにして人様のものを没収できるのかというものがありませんでしたので、今回、物の没収という文言が入ることになりました。

それと難しい問題ではあるのですが、いわゆる賠償責任に関しても管理規定の中に入っておりませんでした。今回制裁に対しての起因になったものが、もし一個人、起こした者に対して賠償請求をすることができるといふ文言が入ることになりました。

ということで試合運営管理規定というほとんど細かい文字でなかなかわかりにくいところなんですが、その中にルールとして差別についての文言が入ることになります。これはヴィッセル神戸だけではなくて、全ての J リーグクラブに同じ文言が入ることになります。

その次にスタジアムごとの運営ルール（要確認）についてです。これは各クラブのスタジアムの形状とかスタジアムの持ち主との話し合いの中で決まっているものを含め、これはヴィッセル神戸独自の禁止事項ということになっております。

殆どどこのスタジアムに行っても同じような内容になっていると思っております。神戸では、フィールドの飛び降りのところが、神戸の場合はゴール裏が高くフィールドまで降りられないというような構造です。ネットに降りたらそれは飛び降りと一緒にですと、これは独自のルールとなっております。確認してください。

5 番目に応援バナー・楽器等の使用ルール、これはホームページに掲載しているものを改めて記載しています。特に今回変更していません。基本的には搬入時間があるところまで持ち込んで作業をしているという形のものを書いております。

それと大旗を振るエリアというところも一番前に規定をしているというルールを入れています。あと細かく応援バナー・楽器等のルールに関しましてもどのあたりをこうしているのか、何のためにやっているのかというところはこの辺りに記載してあります。

あと注意事項も、ガムテープを使うなど、いろいろなものですね記載しております。ご確認ください。ここまでがスタジアムのルールということで、実際に映像でもらったもの、赤字で新しく変更になった部分はもちろんまだホームページにはまだ出ておりませんが、いま説明したルールというのは全て、ホームページ上に掲載している内容になっておりますので、改めて今回ルールとして、説明ご報告をさせていただきます。

ここまでスタジアムルールについての説明です。何か早すぎてわからなかったとかありましたら…」

参加者 A「よろしいですか？」

来住「はい」

参加者 A「A と申します。さっきの項目のなかで、賠償を請求できるという話がありましたね。たぶん前の浦和の話を受けてこうなったと思うのですが、これができた以降は例えばああいうことが起きた時に、無観客試合になったときに、例えば前売りで売り上げた前売りチケットとかそこらへんを賠償できる権利ができました、ということなんですね？」

来住「はい」

参加者 A「あともう 1 つ、政治的なこととか、それを判断するのはクラブだと思うんですけど、例えば匿名でデザインがおかしいという連絡があったとかいうので判断されたりすることもあるということですか？」

清水「匿名での通報ということに限らず、運営スタッフに、関連する情報が届きましたら、現場確認を行い、クラブとして内容を確認した上で対応を行うことになります」

参加者 A「そうですね。例えばちょっと前に話題になってたんですけど、新潟のサポーターが放射状にこう旭日旗を連想させるような、という話があって、スタジアムでこうちょっと言われたって、個人的には旭日旗が好きなんですけれども、そういうのがお気に召さない方もいらっしやって、そういうのが匿名で連絡があって、例えばネットとかで出た時にやっぱりそれは対処せなあかんということになるんですか。そういうものは持ち込んだらだめです、ということになったということですか？」

来住「新潟の件がどのようなことになるかという判断は差し控えますが、クラブ・J リーグの判断となりますので、J リーグとの相談をした中でそれはそういうものに値するというようなことがあれば、もちろんクラブとしては話しをしに行きます」

参加者 A「わかりました」

清水「今回の改定の主な目的というか、対象が差別的な行為ですね。差別的な内容に関してはおそらくそんなに解釈が分かれず差別的であるという判定がされるとおもいます。内容を確認した上でクラブあるいは J リーグが判断をするということになると思います。

事実確認において現場での確認も当然ございますし、ネットや写真等も材料になる可能性は十分ありえると思いますので、実施した方と、どのような状況であったかを確認し、そうした情報を集めた上で総合的に判断することになると思います。いずれにしましても、そのような行為が仮に行われたとしたら、どのようなかたちで情報が集まったとしても処分の対象になる可能性はあるということです。

政治的な部分とかは様々見解が難しい部分もあるかと思います。J リーグの中でもガイドライン的な示し方をするという議論があったと聞いておりますけれども、なかなかここまでは差別でここまでは大丈夫とか、あるいはガイドラインに書いてなければやっていいのかとかそうした線を引くのは難しいところなので、それはもうケースバイケースの判断になってくると思います。政治的な部分というのは特にそうですね。それぞれで罰則の規定等も定義されていますので、案件毎にどこが適用されるかが判断していく、そういう流れです」

参加者 A「わかりました。ありがとうございます」

来住「その他…、どうぞ」

参加者 B「いまの話のなかで具体的にその各クラブで共通にこれはだめだという規定のしかた運用みたいな統一見解みたいなものはあるのですか？」

来住「いまのところないですね」

参加者 B「各クラブ任せということ？」

来住「任せ、ということではないです。ただガイドライン作るというところで、作る為だけでもいろんな考え方とかありますので、それは1つ1つの事象をみながらやっていくしかないかなという形になっています」

参加者 B「もう1つ、このあいだの浦和の件も、ツイッターで流れて大事になったというふうな認識があるのですけれども、どういうチェック体制ができるのかクラブさんの考え方はあるのですかね？」

来住「ヴィッセルとして（ということでしょうか）？」

参加者 B「ヴィッセルとして。みんなどこかでたくさん情報をあげて、それがわからなくて、ただ写真撮って流れたらそれが大事になって、えらいことらしいと、あれはクラブ側が認識して放置していたからああなったという認識だったと思うのですけれど。それをどこでどうやって判断していくかというのをですね」

来住「そうですね。浦和の事案に関してはクラブの責任としてはいま言われた通り、知っていたのに対応が遅かった、クラブとしても出すことを認めたでしょ、というような見え方になってしまっているところはあります。ですので、通報があつてツイッターで例えば出てその連絡が私どものところに入った時に、いかに速やかにそれに対して対処できるかというところが一番大きな問題だと思っていますし、出たからといってああいう無観客試合といったような判断というのは、出ただけでなるというふうには思いません。

逆にそういう情報がしっかりクラブのほうに集まる体制を各チーム作っていかないといけないという思いではあります」

清水「現行の体制でもスタンドのなかの安全等確保するための警備員とかスタッフはもともと配置しております。そこからの情報をどれだけ速やかに集められるか、横断幕だと一番メインでスタンドに出る部分ですけれども、今回のようなコンコースのケースも含めて各位置にスタッフあるいは警備員はおります。今回の事案の後、既にスタッフには、疑わしいというか、何らかのものに抵触する可能性があると感じたらそれは速やかに本部に報告してくださいという指導徹底は行っております。そうした情報を早く取ること、それから早く判断することというのがまず真っ先にやらなければならないことという認識です」

安本「去年も一例ありましたが、クラブ、選手を応援するバナー以外は基本的にはお断りする見方で、そういうバナーが相手サポーターのスタンドで一瞬出たときにすぐに連絡が入りまして来住のほうで社長と相談して即刻おろしてもらいました。警備員としてもこの問題が起こる前からしているつもりではあります」

来住「その他もしあれば」

参加者 C「この差別の問題もそうなのですが、観戦マナーの周知ってということで、昨年 You Tube に

あがってたんですけど、あるクラブのサポーターの方が席で立って応援をしていると、土足で立って応援をしているというのを見てこれはちょっと酷いなと、これもだめだったと思うんですけど、こういうのもないなと思って。そういったルールというのが、いまここにいる人達っていうのはこういったことにも関心があるのだと思って聞いているんですけど、その中で何と言うのかルールの周知というのが、スタジアムも含めて来る人全体に伝わる仕組み、正直言うと色んなスポーツ見るんですけどルールの周知っていうのでなんかインパクトが無いなというか、こういうことはできないとか、そういうのがちゃんと周知できているのかなという印象を個人的には抱いてまして。そういったルールの周知っていうのはホームページだとかも一つの方法だとは思うのですが、現場に来る人にはどういったかたちが一番効果的だと？」

来住「周知で考えると、本当に入り口でチラシを配るとというのが一番だと思うのですがね。看板出したからといって、本当に見てるのかというと…」

清水「今回こうした形で意見交換会を開催させていただいている目的の1つが、まさしく今日いらっしゃる方に限らず、そうした形でしっかりとクラブとしてのスタンスをお伝えしたいという意味で、周知を重要だと考えているということだと捉えていただければと思います。会場の中でも、おっしゃる通り、よりいっそうご理解いただけるような、そこが一番大事なポイントですね。ご存知の通り、ウォームアップ前にJリーグ共通観戦マナーとかビジョンで流させていただいたり、というのはこれまでも実施をしております。

Jリーグの規定が改定されたというお話もありましたけれども、チェアマンのほうから今般3つのフェアプレー化という考え方を昨日の理事会で決議をされて発表されているのですけれども、その考え方というのが実行委員会、で話が合った時も、やっぱり考え方として素晴らしいのだけれども、それをいかにサポーターの方にご理解いただけるような使い方をしていくのかということはずごく大事だという議論はされてました。

いまの共通観戦マナーみたいにビジュアルであったり、アナウンスを含めてしっかり告知をしていかなければならないのか、そうした話でもあったのですけれども、本当にたくさんの方がお越しになるので、なかなか全てそれで言えるほど周知するのは簡単ではありませんが、いずれにしてもそこは重要だと思います。クラブとしても、本日のような場合も含め、告知はよりやっていきたいとは思いますが。

規定なので堅苦しい話ばかりで恐縮なのですが、今回の事案のような話は、本当に大きな処分になる可能性もある事柄だと思いますので、クラブとしてもそこはしっかり受け止めてやらせていただきたいと思います」

参加者 C「ありがとうございます」

来住「その他…、どうぞ」

参加者 D「先ほどの旭日旗の話のところ、あれはまだ歴史観として定まってないので誰しも首相ですら判断できない部分ですけど、もっとわかりやすく言えば1~2ヶ月前に（イングランドの）プレミア（リーグ）でアネルカ（選手）がヒトラーを礼賛する行為ではないけれども、ヒトラーを礼賛するとみなされる行為をしたが為という問題がありました。日本ってそういう宗教だったり、そういうことに関しては比較的色んな意味で薄いじゃないですか。ここにいるひとたちは社会人なので全然大丈夫だと思うのですが、若い人たちが、かっこいいからといって思いっきりヒトラーを真似ることはないと思うのですが、ポーズとかちょっとしたビジュアル的なものって知ってるひとじゃないとわからないです

よね。極端に言えば、手をどう上げるかだけでもヨーロッパではえらいことになるわけで、そういうところに関して事前にわざわざ言う必要はないと思うのですが、世界的に見たら大きな問題なわけで、そういうことに関して、要するに歴史的なことに関してクラブとして、起こりましたよ、じゃあどう対応しますか、みたいなものはあるのですか？」

来住「基本はそういうものがあればまずお話しをしにいくというところだと思っています。ほったらかしにはしない。難しいところではあると思います。Tシャツにデザインされているものがどうなのかとか、世の中にそういうものも販売されていますので、本当に難しいところではあると思うのですが、そういうところにスタッフが意識を高く持って、実はJリーグの研修会とかもあるのですが、私も初めて知るような、これはヨーロッパではだめなんだとかいうものがたくさんあります。このマークはこういう理由だったんだとか。そういうところをクラブとしては担当者がしっかりと勉強して、Jリーグももちろん情報を収集してこれが良い悪いというものを勉強してかないといけないというのは強く感じています」

清水「本題は、罰するとか処分するとかが目的というよりは、本来、試合を盛り上げるのが目的で、差別的な内容は間違いなく応援に不必要なものだと思います。そうしたものはもともとの趣旨に立ち戻って盛り上げるための応援というものを是非みなさまにご協力いただきたいと思います。来住も申し上げました通り、受け取られ方によって、我々スタッフが例えばヨーロッパの知識がなくて知らないところでそういうふうに取り扱われる可能性があるとか、スタッフ含めてよりいっそうしっかり勉強させていただかないといけないところです」

参加者E「先ほど記載があったところでなんですけど、Jリーグ又はクラブで、掲載されているものがアウトかどうかという判断をされると書いていたのですが、例えばクラブで判断ができなくてJリーグに問い合わせなりしているときに、その間は横断幕とかって掲出はされているものなんですか？発生してしまっただけでJリーグからアウトって言われたらその時に幕を降ろしなさいとかっていう指示を出すのでしょうか？」

来住「基本的に疑わしいものはまず一回、確認するので外してくださいというようになると思います。確認した上でオッケーであれば出してくださいと。そういう協力をクラブとしてお願いしていくという形です」

来住「その他、よろしいでしょうか。では、続きにいきたいと思います。ここまでがスタジアムのルールという形なんですけど、ここからは応援に関連する規則になります。ひとつ、応援行為というものがどういうものなのかという定義付けを一度しっかりとしておきたいと思っております。応援行為というのは、基本的には横断幕の掲出、Lフラッグはもちろんクラブとして応援道具として売っているのですが、それより大きなものの掲出、あとは鳴物とか、ビッグジャージ、ビッグフラッグ、トラメガ、最後に書いていますが他のお客様に影響を与えるような行為というものが基本的には応援行為と考えております。

スタジアムとは違うのですが改めて確認ということで、いぶきの森、練習試合等もありますので、いぶきの森のルールも確認をさせていただければと思っております。

原則敷地内に関しましては、クラブの許可なく応援行為というのはできません。応援行為は先ほど説明した通りの内容となります。それ以外にもいぶきの森、細かい見学者のルールだったり、写真撮影のルールだったり、あとは喫煙所のルールもございます。この辺はファンサービスの関係も合わせた細かい

ルールとして記載をさせていただいております。

あとトップチーム、それ以外にも例えばファン感謝デーだったりトークショーだったりいろんな場所でクラブとして活動しますが、その時におきましても、いろんな場所を借りてやっている関係もありますのでスタジアムとかいぶきの森のルールとかそれがそのまま適応できるような場所は殆どないと思っておりますので、原則トップチームが稼働する場所で応援行為をされる場合は事前にクラブに確認をしてくださいということを確認させていただきます。

バナーを貼るとか、ひょっとしたらあるかもしれませんが、本当に貼っていいところ、いけないところ、いろいろと施設によって違うと思いますので事前にクラブにご確認ください。

ここまででルールに関する再確認という項目の説明は終わります」

来住「それでは質疑応答ということで、事前にいただいたメールについて、本日御質問をご用意いただいた方と被っている可能性もありますので、事前にメールでいただいたもののご意見を報告させていただき、その後に参加者の方からご意見をお聞きし、クラブとしての回答をさせていただくという流れにさせていただきます。

いただいたメール、分類をすると、4つの大きな枠に分かれると思っております。1つ目が安心・安全で快適なスタジアムの運営に関して、1人で3つ4つ出されている方もいましたのでトータルで44件、それとスタジアムの応援盛り上げについてで11件、個別の案件で5件とその他10件、トータルで70件ほどご意見をいただいております。

今回主題として『安心・安全で快適なスタジアムの運営について』という主題で意見を求めておりましたので、それについてここでは詳細の報告をさせていただこうと思っております」

清水「本当にたくさんのご意見をいただきましてありがとうございます。『安心・安全で快適なスタジアムの運営について』の質疑をこのあと中心に説明させていただきますが、その他の内容についても本来的にはスタジアムを盛り上げることが目的でもありますので、また違った形でしっかり活用させていただきますので、それも合わせて説明致します。スタジアムの応援の盛り上げについて、2番・3番・4番、今回そんなにカバーできないのですけれども、それぞれのカテゴリーについて概要だけ補足をさせていただきます。スタジアム運営の盛り上げについて、これもいろいろなお考えがあるところなのかと思います。こんな歌を歌ったらどうかとか、こんな形の曲をしたらどうかとか、様々なご意見をいただきました。そこはもういろいろなお考えがあるところで、クラブとしてこう応援してくださいとか押し付けるものではないと思っていますので、基本的にはサポーターのみなさん同士で話し合いをいただいたり、あるいはその中でお互いに調整をされる中で盛り上がっていくものだと思っておりますので、そうしたご意見についてはクラブとしては参考にさせていただきながら今回は主題からは外させていただいております。それが2番です。

それから3番で個別の事案ということで、過去の事例と過去の処分等に関しまして、あの時はこういう事実だったんじゃないかとか、そうしたご質問も5件ほど頂戴しております。ひとつは個別の事案で関わる方、個人でいらっしゃるのでこの場でその事案をつらつらと説明させていただくとか、Aさんが言っていたことがこうでBさんが言っていたことはこうでということをお話しさせていただく場だとは思っておりませんので、今回はその件に関しては割愛をさせていただいております。

応援の意見に関する相違ですね、本当にゴール裏もたくさんの方々がいらっしゃいますし、ゴール裏に限らずファン・サポーターの方はたくさんいらっしゃいますので、ある1つの考えに揃うものではないと思っております。そんななかで基本的にはファン・サポーターの方同士でお話し合いいただくなか

でいい応援を作っていくものだと思いますが、クラブとしてそうした意見の相違とか意見の対立がスタジアム全体に危険なことが起こる可能性があると感じられるものについては、両者にお話しをお伺いして過去の様々なお願い・処分等を決定しております。物を投げ込んで入場禁止になるとかですね、そうした事案とかも過去にございましたけれども、基本的には応援のやり方についてこちらのやり方に合わせてくださいとお願いしているのではなくて、いさかいのもとになることについて、両者及びその関係者の方にお話しを聞いて、個別の事案にクラブとして判断をさせていただきます。

そうした考え方ではありますが、3番については個別の事案として、今回は割愛をさせていただきます。4番のその他についてですね、運営という意味では広くは関わるんですけども安心・安全というより例えば、ゴール裏のスタンドを広げたらどうかといったご意見もいくつか頂戴しておりまして、非常に面白くて事業的には参考になるご意見ではあるんですけども、そこらは時間が許せば最後に少し時間があれば紹介します。まずは安心・安全で快適というところでスタジアムの様々な運営に関するところを中心に、いただいた質問に回答させていただくということでお話しさせていただければと思います」

来住「では、多いもの順ではないんですがいききたいと思います。一番多かったのが待機列、開場前のルールをしっかりと決めてくださいという意見が8件ございました。いろんな方からいろんな意見がありました。内容的にはテープを貼っているので景観を損ねているのではないかというもの。あとこれはクラブ運営の問題かもしれません。定期的に点呼をとってないので貼ったひとがずっと帰ってこないというものだったり、というご意見もあります。その中には早く入って場所だけ取って帰ってこない方もいらっしますよねというような話もあったんですが。待機列のルール、いままではクラブとして明確に決めていませんでした。並んでいる方皆さんで順番を決めてやって欲しいという考え方でした。チームによっては前の日の12時からとか、前日の夜7時から抽選会をしますというクラブもあります。色々なやり方もありますが、クラブだけではなくて皆様にももちろん負担をお願いする部分もありますので、クラブとしては待機列に関して細かなルールを策定しておりませんでした。

ここまでのいろいろな意見をいただいておりますので、今後この待機列に関して何らかのルールは決めていきたいと思っています。どういうルールにするか非常に私もここ3年くらい各チーム訪問しながらいろいろ話しを聞いているのですが、様々なやり方、そのクラブの事情とかサポーターの事情とかいろいろルールがあるのですが、ヴィッセルに合ったものを検討しながら決めていきたいと思っています。

その次に喫煙所が5件ございました。バックスタンドの喫煙所が実は階段降りて公園を出たところなんですけど、階段2カ所あるのですが、特にこっちが上るほう、こっちが下りるほうと決めてませんでしたので結構階段のところではぶつかり合いがあったようです。なのでここは一方通行にしてほしい。2つ目が関係者の喫煙所がメインのビジョンの下くらいにあるのですが、風が強い時に匂いが流れてきますというもの。あとはこれはなかなかいたちごっこなんですけど、公園で歩きタバコをされている方がまだまだいらっしやる。それと物理的なところもあるのですが、南サイドスタンド喫煙所もう少しなんとかなりませんか、この4つ。1つ被ってるのですが、5件の意見がありましたので。喫煙に関して対応をしっかりととっていかうと思っています。

3つ目がメインスタンドとバックスタンドのいわゆるホーム側ですね、アウェイのユニフォームを着る方がいらっしやるというご意見です。特に浦和戦とかガンバ戦とかお客様が多い試合の時というふうに書いてあるんですけど、クラブとしては基本的にホーム側で着てるひとがいたとしたら、アウェイ側に移動をお願いします。やり続けてはいるんですけど、どうしてもわからなかったり、あるいは、ユニフォームを着ていなくて周りでみている方もわからなかったらしいんですけど、浦和が点を取った瞬間にバンザーイと急に真ん中でやった方がいらっしやうってというような事案もご意見にありました。さすがに私たちスタッフもそこまで見抜くことはできないんですけど、このあたりにつきましてもクラブとしてはさらに強化をして、はっきりわかるものに関してはアウェイ側のエリアのほうに行っていただこうと思

っております。

それとチャイルドスペース、オムツ替えだったり授乳だったり、託児所を作ってほしいというものがございました。こちらは、ひょっとしたらクラブの告知力も弱いのかと思っております。実際チャイルドスペース、オムツ替えに関しては女性トイレの中にはオムツ替えシート、それとバックスタンドとメインスタンドについては、多目的トイレが両端にあるんですが実はオムツ替えシートが設備されているトイレです。そのあたりはひょっとしたら告知がしっかりとできていなくて、オムツ替えできるのが女性トイレの中の1つのベッドだけだというご意見でもありましたので、このあたりは何かの方法でしっかり表示していくことをやっていこうと思っております。

託児所スペースに関しては、過去一度やったことがあります、毎試合1人しかいないというような状況が続いて、現在は実施していない状況ではあります。ご意見としては、今後考えていきたいと思っております。

ここからは1件ずつのものになります。(スライドの)一番上がバックスタンド指定席(の空席部分)がテレビ映りが悪いから何とかしてくれというもの。あとバックスタンド、これはシーズンシートバック自由席をお持ちの方の意見なんですが、バックスタンドの中でも応援というレベルではないんですが、わーっと盛り上げられる、いわゆる一見さんではなくて毎試合見に来ている方が固まって座れるようなエリアができないかという意見。

次にタクシーについて。うちは(スタジアム場外の)南側は全部ガチっとフェンスでやってるんですが、これは足の不自由な方からの意見だったんですが、道路に出て車を止めるのはいいんですが、足が不自由なのでしっかりとしたタクシー乗り場を作ってほしいというものでした。

次にバイクで来られる方、公園の出入り口のところにバイク専用の出入り口を作って欲しい、あと駐輪場の場所が曖昧だとか、スタジアムの地下駐輪場はわかるんですが、周りの駐輪場エリアマップみたいなものがあれば嬉しいと。

一番下、手荷物検査が甘すぎる。もうちょっとしっかりせえというものが2件ございました。

一番上からいくとバック側の指定席に関しましては、やはり私たちも空席があるのは嬉しくないと思っていますので、一生懸命販売をしてるんですが、一番ちいさなエリア、プレイガイドにチケットを配券している前段4ブロック北側というところで、配席を組みきれない部分もあります。ただし、指定席エリアを設定する時に関しては、1人2人に売るためだけに新たなブロックを空けることはしないです。ある程度見越して半分以上埋まるとか見越せる場合は指定席を拡大していった販売をするようにしているので、ここはなかなかクラブ側も意識してやっておりますが、空いてしまうこともあるとご理解いただければと思います。

2つ目、応援エリアですが、どういう状況なのか一度クラブとしてもしっかり見ていきたい。これはお客様が非常に多いとき、にあるようです。

3つ目のタクシー、これは警察との協議で、『雑踏の安全確保のため、タクシーを停めるな』と強く言われてますので、クラブとしてはなかなかタクシー乗り場を作りにくい現状です。足の不自由な方からのご意見でしたので、その方ご自身にはなかなか言いにくいんですが、一般論としては、三菱、和田岬の駅のほうまで行けばタクシーはいっぱい停まっているので普通に乗れるのかなと思っております。バイクの公園からの出入り口については、現場を一度みてみようと思っております。

駐輪場は、私たちはしっかりとフットサルコートのように案内しているんですが、実はエントランスのほうにいっぱいとまっているのではないかという意見なんですが、エントランスにとまっているのはスポーツクラブを使われている方とか普段いつもあそこにとめられている方が使われているエリアです。

あと駐車場がわからない、スタジアムの周りに駐車場が多くない状況ですが、特に動員の大きな試合では、何か工夫ができないか検討したいと思っております。

最後、手荷物検査が甘すぎる。どこまでしっかりやっていくかというのは非常に難しいところではござ

います。本当にしっかりとやると、鞆の中まで全部開けているとなかなか列が進まなくなって、入場ゲートをすごい状態を作らないといけないということです。瓶・缶の移し替えをしてくださいということでやっております。言い訳だけさせていただくと、過去にある程度しっかりと鞆の中まで見ていたこともありました。それをやり続けるとすごいクレームが実は入るんです。子供のサッカーバッグの中まで見るんかよ、と。持ってきているわけないやろそんなもの、と（言われたと）というような事案もありました。意見として書いてあったのがお土産のワインの瓶をちゃんと包装に包んで入れてきて鞆の中にしまつて、結局言われたら預けようと思っててしまってたけど、試合終了まで誰からも何も言われず、そのまま持って帰ったけど、自分はずっと瓶を持ち込みした状態やった、といった内容でした。瓶・缶の持ち込み禁止に関してはJリーグで決まったのも、過去にスタジアムの中に投げ入れがすごい横行した経緯があります。瓶・缶・ペットボトル、なぜこの3つが投げやすいかというと、ゴミになるから。ゴミだから投げ込むと。というところで禁止になっているので、実際スタンドの中でビールを飲まれている方がいらっしゃるんですが、仮に見つけた場合は係員が紙コップを持って行って移し替えをしてくるようにしております。
ここに関して何か…」

参加者F「甘すぎるっていうので、何がいかんのかっていうのがいまのあれですね。持ってたんやけどな、で、それはそれでいいじゃないかという話ですね。お土産で持っててそれを投げ入れるというのはないんやけどそれはそれでいいんですね」

来住「本当はだめです。瓶・缶持ち込み禁止なので。お土産であろうが何であろうが本当はだめです」

参加者F「甘すぎるって、じゃあ何がだめなのっていうのはちょっと思ったんですけど」

来住「いわゆる安心・安全を求めるんだったらそこはしっかりしないといけないんじゃないのかというご意見でした」

来住「他…、はい、どうぞ」

参加者G「駐輪場をいつも利用してるんですけど、公園のほうに抜けることになって、あの辺帰り際、子供がいつも遊んでるエリアをバイクで通らないとあかんということなんですね。私も乗ってゆっくり通ってるんですけど、押していこうとすると結構長いんですね。そこがつらいっていうのがあって。本当は入って来たほうの駐車場のほうから抜け出たら一番いいんでしょうけど、あそこは禁止されてるので、どうしてもあっちに行けっていうことなのであっちなんですけど。確かに子供がいるのは気になってはおります」

来住「遊具がありますからね」

参加者G「ゆっくり行ってるんですけどね。それを禁止されるのはつらいなという話しもできたりします」

来住「なので本当にご協力いただいて、大きなバイクの方は大変かもしれませんが、押して安全確認しながら」

参加者H「私は行ったことないんですが、そこには注意喚起などあるんでしょうか？」

来住「警備員がついて様子を見ています。公園なので子供たちに遊ぶなどとは言えない場所なので」

清水「試合後の導線及び警備員の配置等のなかで、全体のスムーズにご帰宅いただくための導線ってなってるんですけども、例えばこのバイクの部分とかはご意見を頂戴して改めて認識した部分でもありますので、もともとまんべんなく警備員を配置はしておりますけれども、こうしたスポットについてはまずしっかり様子を見させていただく。その上で例えば危険になる可能性が大きい状況が把握できれば、違う導線を作るとかその上で考えたいと思います。しっかり今後状況を見させていただければと思います。気付かないところも含めて、こんな潜在的な危険があるんじゃないかっていうのは、おそらく他の場所でもあると思いますので。そこを今回知ることができました。ガチガチにやるんだったら、バイク専用の導線の柵を作るとかですけれども、それぐらいの措置が必要なくらい、子供が飛び出してバイクが動いててみたいな状況なのかとか、そのあたりですね。状況をしっかりと確認させていただきます。

参加者I「考えてはおられないと思うので別にいいかとは思いますが、2つ目のバックスタンド内に応援エリアをっていう、つまりは自分と周りの方の応援の温度差が感じられてると思うんですけど。私、今年で10年目のシーズンシートなんですけど、4年目か5年目くらいで、クラブの方には申し訳ないんですが、ヴィッセルシートからバック指定に替えたんですね。理由は、ヴィッセルシートはどうしても法人で買われてたりするので、17試合中2試合くらいしか来られなかったり、カップルの方とかでいちやついておられたり（笑）、試合に全く熱中できなくて。お金が惜しかったのではなく、あついところにいきたい。私は年齢的にゴール裏はちょっとしんどいなと思ったので、バック指定にして。バック指定にしたのが2008か2009年くらいなんですけど、その頃よりもこれは私の主観なんですけど、いい熱を持ってきてるなと思うんで、だからこそ、その熱さの差がある方と熱さで相乗効果が高まるように、いつか。時間をかけないと仕方がないと思うんですけど。

バック指定でそれを経験したんで、バック自由でもいずれ可能なことだと思うんで。だから1件だけの方ですが我慢いただいて、逆に自分から盛り上げるくらいの考えでいていただきたいと思います」

清水「それはありがたいですね」

参加者J「今の方の意見に補足ですけど。僕はバック自由で観てます。ちょうど真ん中で見てるんですけど、昔HITACHIの看板があっいま変わってますけど、そこは毎回来る人が集まって名前は知らないですが顔は知ってて、そこで知り合い、毎回会うと。みんなマフラー回しはしませんが、僕はLフラは振りますし、ゴールが入ったときに。ゴールのときはハイタッチで10人くらいみんな大騒ぎになるんです。そういうところなんで、そういうのが増えていけばこういうのは自然になるのかなと。だからそういうところに近くに来てくれれば、おっしゃったようにバック自由とかバックスタンドのところも、一見さんも増えるべきなんだろうけど、本当にヴィッセルのことが好きで応援しにきてる、服なんかもレプリカだったり、応援も手拍子とか率先してやったりするひとがかなり増えてるんで。それがもっと増えていけばいい話なのかなと。ヴィッセルの話だけではないでしょうけど、人気が出て、ヴィッセルがないとだめな人が増えれば自然に解決するだけのことなのかなと思います。僕の近くに来てくれればなんぼでもハイタッチしますよ」

来住「ありがとうございます」

清水「基本的には盛り上がっていただきたいので、そのためにクラブとしてできるいろんなサポートというか、もしルールでそういうことができるんだっいたらしたいと思うんですが、このご意見についていまエリアを設定するかどうかというのと、同じエリアで逆の考え方の方もいらっしゃると思うので、そんなに頻繁に来なくてゆっくり見たいんだ、ヴィッセルシートをそのつもりで買ったのというような方もいらっしゃると思いますので、これもクラブから何か押しつけて指定するものではないのかなと考えています。

おっしゃっていただいている通り少しずつゴール裏からの応援がバックにもメインにも広がってきていると思いますので、ゴール裏近いところはそういう雰囲気のある席なんだとか、そういうのが定着してくればと思います。その中で私はこういう見方だからこういう席で見ようと思っていただけるのが望ましいという部分だと思います。」

参加者K「タクシー乗り場の設置（について）、体不自由な方ももちろんそうなんですが、特にアウェイに来て土地勘がないなかで、新幹線の駅まで行くとか、行く時のアクセスとして有効な手段かと。その中でここにタクシー乗り場があるというのがわかるというのは非常にありがたい。
ある程度場所を明確にわかるようにすると、アウェイの方もきっといいスタジアムなんだと思ってもらえる気がします」

来住「アウェイの方もそうかもしれないですね」

参加者K「スタジアム周りは警察との交渉で現状は難しい？」

来住「まあ、タクシー乗り場がない状態なので」

参加者K「ちょっと先のところで、違法じゃないんですがタクシーが停車してて、バスの運転手ともめてるのを見たことがあります。変な関西弁でどなりちらしているのを見せなくてもという気もするんですけど」

参加者L「結局お客様視点で言うと、本当はそういうところがあるべきではないかと。というのは、前からずっと思ってた、前の叶屋さん（前代表取締役社長）がいるときから言ってるんですけど、平日もあります、週末のアクティビティのなかで選んでいただかないといけないわけじゃないですか。

僕らみたいなヴィッセルがないとだめなひとはね、いいんです。現状それが3千人じゃないですか。天皇杯とかみてもわかると思うんですが3千人くらいしかいないんですよ。週末のアクティビティのなかでヴィッセルを選んでもいただこうと思うと、やっぱりお客様視点でないといかんのじゃないかと。お客様が楽にアクセスするっていう点でいうと、こういうところも今後考えていかないといけないんじゃないかと。

相手は阪神であり、もっと言うとUSJであったりするわけじゃないですか。そういうところからヴィッセル神戸の試合を選んでいただくときに、快適なスタジアムを目指すということはそういうところもあるかと思うんです。いかがでしょうか？」

安本「ソフト面の充実というのは重要ですね。ハードは、ご存知の通りで、Jリーグの中では日本屈指のスタジアムです。それ以上に求められているお客様の目のほうが厳しいので」

参加者L「いまおっしゃったと思うんですがJリーグの中ではっていう、僕らはそう思うんです。アウ

エイに行ったりしてウイングスタジアムは素晴らしいっていうのはわかるんですけど。他の一見で来る人はそんなのどうでもいいわけじゃないですか。USJとか他のところを見て、他の映画館とか見て、そこと比べられるわけです。本当はそういう視点でものを考えていかないとだめかなと」

安本「そういう意味ではライバル心も持ちつつ、参考にしようと思います」

参加者 L「スポーツだけじゃないんですよ。週末のアクティビティに2〜3時間来てお金をおとしてもらおうと思ったら、そういう考えでないとだめだと思うんですけど。一番いいのは僕らみたいな人が3万人おって指定席だけで席が埋まるっていうのがいいとは思うんです。現状はそうになってない」

清水「大きい考え方というか、そこはご指摘の通りだと思います。サービスアップできる部分はしっかり検討させていただきまして、多分このタクシーの話に関して申し上げると、試合後の雑踏になる状況での安全確保という観点もございますので、試合後どうしても人混みのなかでタクシーを停める場所を作って危険な状況が逆に生まれてしまうとか、そうした意味でそのサービスアップだけで判断できない部分もどうしても残ってしまうんですけど。ご指摘のとおりアウェイの方とかそうした視点もあろうかと思うので、何かほかの手段も考えるべきかなと思います。」

参加者「臨時バスとかですね・・・」

参加者「臨時特急・・・」

参加者「足の不自由な方というのは、健常者ではわからないところがあるでしょうし。」

参加者 M「メールでいただいた意見の中には場所がわからないというのがあるんですが、たしかに場所が曖昧とかいうのがちょっと多いなと。僕は仕事柄、車椅子のひとを押したりすることがあるんですが、自分はサポーターなのでここに来る時はここ行ったらっていうのはわかるし、ここでチケットを引き換えてくれるとかはわかるんですが、たぶん知らなかったらわかりにくいのかなという印象は感じる。ホームページには一応、引換所があると書いてあるのは見たことがあるが、引換所があると書いてあるだけでいざそこに行ってみるとどこが引換所なんだろうなと、屋台のテントとかいっぱいあったりする中で。前のほうにはイベントですかね、市民応援のあれですかね、手前の歩道橋あたりだったら、優待デーとかの受付があったりするところで、ここなんだと思ったら違ったりとかそういったこともあるので、場所の周知というのがもう少しわかればいいのかなと思いました」

来住「わかりました」

安本「チャイルドスペースも同じで、甲子園は改装してから、すごい授乳スペースここですとかオムツ替えスペースここですとか、看板が1つ1つ大きくなってますね。取り入れていくことと、示すものを作るということも取り組まないと、始めてきた人がサッカー知ってる人しかわからない場所と思わせるのは確かによくないなという観点でいまのお話しは聞いていますので。今日の明日で整備する事はできないと思いますけれども。しっかりとしていきたいと思います。」

参加者 F「車いす完売したばかりだったので。そこ少し」

来住「では次のページになるんですが。それ以外に子供の観戦マナーが悪すぎるというのが4件ありまして。走り回っている、最前列まで飛び込んでくる、席でじっと見ていない。そのへんスタッフがもっとちゃんと注意をしてくれと。走り回ってるときに出会い頭にぶつかって怪我をさせそうになったり、怪我をすることがあるから、もっとスタッフもしっかりやってほしいという意見もありながら、親の責任だろうというところで、保護者同伴を義務化にしろとか。走っている子がいたら首根っこ捕まえて外に追い出せとか。それまでせんと子供はわからんとか、いろんな両反するような意見があったんですが、もちろん知らん顔している訳ではないですが、こういう意見がありますので今後もしっかりと対応していきたいと思っております。

それと演出関係に3件ありまして。**BGM**の音がでかすぎると。これは私もよくわからないんですが、アウェイへようこそとアウェイの旗を振ってあげたらどうですか、言った瞬間に、という意見。それときちんとお別れできなかった選手に対して何かこう、引退した後、お別れ会をやってあげるとか、そういうふうなことをやってほしいというご意見がございました。

それと先程の誘導、案内の関係なんですが、特に誘導が悪いというわけではないのですが、試合後ミサキガーデンに行こうとすると違う流れがあって行きにくいので、誘導をしっかりしてほしい。あとハーフタイム、特にバックスタンドだったんですが、いろんな列がハーフタイムにできて、喫煙所に行く方の意見だったんですが、バックスタンドでハーフタイムに喫煙所に行こうとすると、うねうね列を抜けて行かないと喫煙所には到達できないんで危ないんじゃないかと。

あとはスタ飯ストリートでお買い物をする列がたまに長いことがあるんで、しっかりと誘導をしていないと何かトラブルが起こるんじゃないでしょうかというもの。

あとサービスという言い方がわかりませんが、貸出フラッグをやって欲しい。乳幼児シートをパノラマシートに作ったらどうですかというもの。

あと最後に書いてますのはスタッフの教育をしっかりしろというもの。車いすの来場者への家族に対する、個別の案件だったのですが、一応報告いたします。これはもちろん注意はしていったんですが、こういうものもございました。

最後ですが、その他。チケット代が高い。グッズも高い。あとはゴール裏に行きたいけど一人ではなかなか行きにくいので何か楽しめるようなアイデアはありませんかというもの。シーズンシート同伴割引の引換開始時間を早めてほしいというもの。無料招待は無駄、500円でもとったらどうですかと。オリックスさんは取られているようなんですね。という意見がありました。これで一応いただいたメールは全てとなります。」

参加者 N「先ほどの音のやつ、私が出したメールなんですが、前の前のホームくらいの時にやたら大きかったですね、バック自由席で聞いていたんですけど、前の席の方、耳をふさいでいました。ああいうことがあるとあれやなと思うし、逆に小さいときはノエスタではないですけど、あっちのほうでバックで聞いてると選手の名前すら聞こえない小さい時があって、おいって言いたいんですけど、どのタイミングで言ったらいいかわからないとかあるので、スタッフの方チェックして大きい小さいを試合、その時にコントロールできるようにしていただけたらとは思います」

来住「わかりました。努力します」

来住「ユニバは去年8月の試合で小さかったのも、実は台風のなかチェックして、音を全部微調整しました。9月のほうの試合のときは大きすぎるかなっていうくらいしっかり音が出ていたと思います。8月の試合は、バックスタンドは全く聞こえてなかったと聞いています」

参加者 N「機材が・・・」

来住「陸上競技場なので、陸上競技に合わせた設定をいただいているのを、微調整でサッカー演出バージョンというのを作ってもらいました」

清水「どうしてもスピーカーの場所が固定なので、うるさいというのは場所的に避けがたいので起こるかもしれない。今、来住が申し上げたような調整はさせていただいてます。機材だったり場所だったり、また、人の入りによって全然違うと思いますので。気付かれたらそれはおっしゃっていただければ、設備をスピーカーを増やすとか買うとかはちょっと簡単じゃないんですけど、できる範囲の調整はさせていただきます」

参加者 O「小さいより大きいほうがいいかもしれないが、大きすぎるのはよくないかなとは思いますが。やっぱり晴れの日やないですけど、異空間として日常ではないものとして演出するには賑やかなほうがいいかと思うんですけど、耳塞がないとかあんくらいというのはよくない気がする」

来住「音源によって大小とかもあります。コマーシャルの時と、普通に MC がしゃべっている時と、同じレベルなんですけど、コマーシャルを流すとガンと感ずることもあります。ああいうものは規定があるものは全部調整していつてるんですが、しっかりとやっていきたいとは思いますが」

参加者 P「演出関係と似たようなことなんですけど、今期 2 回ほどオフサイドでゴールが取り消されたのに、MC でゴールって・・・」

来住「すみません」

参加者 P「サッカーをよく見てるひとだったら、副審を確認したりしていまのは違うかったなっかわかるんですけど、一見さんとか慣れてないひとだったらつられて入ったんやなって喜ぶことがある。結局、MC がいまのはノーゴールでしたと。ですけど盛り上がってるのでノーゴールでしたが聞こえないことがあるので、そこでまた途中で止められたりという仕組みとかはできないのかなって今回のを見て思ったんですけども」

安本「ゴールのアナウンスをしている場所から見にくいケースもあることと、確実なゴールを待ってからになると、間ができてしまうこともあります。時と場合によるんですけども、タイミングなんで難しいところもあります。確かにおっしゃるとおり、知らないひとは、ワー入ったのになんでやねんみたいなふうに感じてしまう。おっしゃられることはよくわかります」

来住「徳島戦でもあったかな・・・」

安本「2 回あったね。」

来住「徳島戦で間違ったんで、少しためて 3 点目やっているんですけど、実際聞いてるとワンテンポずれると、なんかもう遅い印象でした。あ、ずれた、みたいな。ここはしっかりと、実は今年でもう 2 回起こってしまってますので」

清水「演出スタッフとしっかり話をしていきます」

参加者 P「演出とかあれですよね。ゴール入ったあとの音楽とかも、いまひとつじゃないですか。名前忘れましたけど。それ以外のバリエーションもつけるとかというのは、演出で考えられるんだったら考えていただけたらなど。点がいっぱい入ると違う曲とか。今年のヴィッセルは点を取れますし」

安本「個人的にはオリジナル曲を作っていくとか、アレンジしたいなとおもってはいるものの。いかにせん、じゃあ誰に頼むのとか。予算とかね。したいことはいっぱいある。例えば3点目はこれにしようとかいう意見は検討してみます。」

来住「メールでいただいた意見は以上でございます」

参加者 Q「スタッフ教育のところなんですが、2〜3年くらい前だと思うんですが、新規のお客様がチケット売場どこですかみたいなことをスタッフに聞かれて、スタッフがポケットから紙を取り出して、えっと一ここです、みたいなことがあって、僕の教訓として、アウェイで例えば行ったときに入り口がどこかわからない場合は、そこのサポーターに聞くほうが早いのかなっていうことを思ったことがあったので、まあそこに関してはもう出るときに全て理解しているという状態で出ていただければなど」

安本「去年から実は来住から毎朝スタッフにわからなかったら立つなというのを最近ではスタッフでも徹底してもらってまして。ディズニーランド行ったらこんなスタッフいないじゃないですか。そういうディズニーランド目指そうみたいなことを取り組み始めたことがありまして。興ざめますよね」

参加者 Q「わかって聞いてると思うんで」

安本「イベントの場所がこことかというのは改善を組みます」

参加者 R「乳幼児シートについて私が意見を出させてもらったんですけど、私の嫁もサッカーが好きで結婚する前から見てまして、でも結婚してから子供ができてからもずっと来てるんですけど、どうしても子供が小さすぎる時っていうのは来れない時期があるんですよね。

ある一定期間たったらまたスタジアムに行きたくなった時に、バックで見る人が多いんですけど、バックの端のほうだったり上のほうだったりで授乳を目立たないようにしたり、あとは子供が機嫌が悪くなったときに立っても後ろに迷惑がかからないようにしているんですけども、ノエビアスタジアムの素晴らしい点っていうのはすごく見やすいことと、天気を気にしなくていいというのが、子供ができてから一番感じたんです。

2歳とか3歳の子供と雨のなかに行くというのは絶対無理なので、子供の体調以外を気にせずに来れるっていうのは、計算できることなので、そういった方々をある程度パノラマでもエリアを定めて、乳幼児がいる方々に、エリアを設けてですね、授乳とかも周りがそうであれば気にならなかつたり。

あとは小さい子供にもヴィッセルを知らせるといって存在をわからせるということもありますし、お父さんお母さんがスタジアムを遠のいてしまうので、遠のかないようにするっていうのと、両者のコミュニティの場にもなって長い目で見たら、そのあと続いていったらいいですね、コミュニケーションとれていってたりするのかなというのもあったので」

来住「これはおもしろいなと思いました。意見のなかにはプラスにはお金をとっていいかなと書いて

あったんで。商売をする気はないんですけど、1,000 円プラスで払ったら、未就学の子やったら一緒に上がれますよって言ってあげたら、ひょっとしたらマザーバッグ持ってるお母さんとかはゆったり座れますから喜ぶのかなというのは思いました」

来住「それでは事前にいただいたメールに関してはここで終わります、参加いただいている方からもしありましたら」

参加者 S「意見というのは、今日の趣旨の意見ということですか？」

来住「そうですね、ベースは」

参加者 S「今週末セレッソ戦があるんで、私いつもバック自由なんですけど、そこでたくさんセレッソのサポーターさんが来られると思うんですけど、やっぱり分けるようなことはされるんですか？」

来住「原則半分よりも北側に行っていただくように運営します。中に入っている、そこで場所を変えていただくと。指定席の場合たまに難しいことがあるんですけど、自由席に関しては移動をお願いしています」

清水「今回、これまでは券売の段階で自由席はエリアを分けてないので、自由席の方ですね、セレッソの応援の方と見受けられたらアウェイのほうにお越しいただくように現場で誘導するという形になる。ただ相当満員になると思いますので、たまたま 4 人でいっちゃってそっちのほう行ったらたまたま 2 席しか空いてなくて、こっち 4 席空いてたなんていったら、その場でいろんなことが起こる可能性はあると思います。そこは気にされるご意見も多数いただいていますんで、ちょっとやり方はいろいろと考えないといけないかもしれませんね。エリアを分けるまでできるのかみたいなことも先々には考えても良いかもしれません。

ちょうど今日どこの地域からの券売が多いのかを見て、たぶんセレッソファンの方がどれくらいの割合だとか見てたんですけど、現実的には今の自由席のやり方では、各エリアが 100%ピンクをゼロにできるとか、アウェイ側は赤をゼロにできるとか、それは無理だと思うんですけど、できるだけ上手くわかれるような運営は行います」

参加者 S「浦和戦でバック自由に出て、一人だけ浦和ファンの方がおられて、友達同士でこっちはヴィッセルで、友達で一人と一人だったんでそこに座られてたんですけど、選手紹介のときにその人だけ盛り上がった時に、いらっときたりはするんで、ただその時は周りの人がしーっとやってくれたらそこからその人は大人しくなったんであとは大丈夫だったんですけど。やっぱりそんなトラブルが起きかねないかな、ガンバ戦」

安本「現場の時点でわけてしまおうかなという話は実は今朝、セレッソ戦を迎えるにあたってミーティングをしているなかで、やめたほうがいいのかとか、まさに。今後はガンバ戦も 7 月にありますし、いろいろ考えていきたい」

参加者 S「追加で。待っているときにあからさまにセレッソのユニフォーム着て待ってる、バック自由席のところでっていうときには個別に声をかけてアウェイに行ったほうがいいと行かすようなことは？」

来住「入場ゲート入ったところでも、一般の人が入るときには最初のほうは特にサポーターの方とかファンの方は多いので、声かけをするようにはスタッフには。（ホーム側とビジター側が）右左逆になって、たまに勘違いされて行かれる方もいらっしゃるんで」

参加者 S「でもキンチョーは入れ替えてるんですよ。うちと同じで」

来住「そこは誘導はしておりますので」

参加者 T「チケットの話がでたので、快適なスタジアムに関係があるかなと。関係がないかもしれないが、将来的な話という観点で聞いていただきたいんですけども。僕はいつもバック自由のど真ん中の、要は指定席の1つ上のところ、中央のコンコースの上で見てるんですが、そこってたくさんお客さん来られて指定席が拡大されると、そこで見れないんですよ。個人的な話なんですけど、シート個別になってるじゃないですか、番号もふってあって。これはヨーロッパの話になるんですが、そのシートが昔からその個人の席になってて、息子もここみたいな感じでそのシートで見れるように、シートを指定していまはバック自由のところでも指定席と同じ年間の値段、もう少し高くてもいいですけど、あなたのシートですよっていうかたちで将来的に売れるっていうようなことは考えられないですかね」

安本「考えられなくはないですね、一販売方法として。販売の仕方として、他のスポーツであったりもしますし。自由席エリアで一般券売する前にシーズンシートここ選べますよと。システム的には選べるシートみたいなことはできます」

参加者 T「前にも話したことがあるんですけど、ヴィッセルシートって、いま赤いシートカバーみたいなものをかぶせてるじゃないですか。それをかぶせる。それでこれは指定席とわかるようにする。売るときは高く。他より高いですけどあなたのシートですよと。例えばそれがすごい人気でたら、そのひとの資産じゃないですけど、ずっと自分の場所で、息子にも継げるじゃないですけど、抽選になるかもしれないですけど、昔からのひとがまずは優先にしてもらえることができればいいのかな、そしたらクラブも同じところを売るのにチケット単価が高くなるわけじゃないですか。ロイヤリティがね」

安本「野球なんかですと、70 試合あるんです。背番号型のシートが椅子に貼ってあって名前も自由にできたりとか、好きな番号入れたりとか、うちの場合は年間 20 試合、アイナックの試合がある、ラグビーがある、そこまでできないとは思いますが、物理的には。仕組みとか考え方としては検討する余地はあるかと思います」

参加者 T「できますよね。というのを前から言ってたんですけど。自由席だったら事前に連絡いれとけば、例えばシートを被せてる時はその人のですけど、事前に連絡をいれとけばそれをとって、絶対これないというのを先にわかっておけばそこを使っていた方がいいというふうにもできるでしょうし」

参加者 U「試合が終わった後なんですけど、選手見たいがために最前列まで行ってしまう人がいるんです。前に立って。いまはまだ事故とか起きてないですけど、今後なんかで雪崩が起きたり、放り込んで事故する可能性があると思うんです。その辺しないと、あとあと大変かと思うんです」

清水「メールでも頂戴してたので。試合後特に人数が多い時ほどなりますので危ないと思います」

参加者 T 「この辺徹底しないとなんかあるんじゃないかと」

安本 「そうですね、スタジアムのクラブルールも含めて。そうですね」

参加者 T 「前に何か入れないように柵をしてしまうとか。立てられないように。ロープだけなんですよ、前を見てたら」

安本 「テニスとかフィギュアスケートとかもすごいんです。同じような現象が起こってるんだと思うんですけど、事故を未然に防ぐという意味では対策というのは必要かと思いますし、ポリシーをどうするかっていうね。だから逆に指定席を買ってくださいとか。」

参加者 T 「起きてしまってからでは遅いんです。」

安本 「そうですね。」

参加者 T 「難しいと思ったのが、ヤクルトスワローズの神宮球場にいたんですね。一塁側はフェンスがあって、フェンスの下、土台、フェンスのところが開くようになっているんです。選手とファンが握手とかあったりして、そうなるとうとうどうしてもファンの人が前に来たりして。なかなか選手と触れ合う機会というのも選手を間近で見るというのも、ひとつのファンサービスとして考えたときに、絶対に最前列に来るなって言うってしまうのも忍びないなっていう感じがして申し訳なかったんですけど」

安本 「どっちも正しいですね」

参加者 U 「選手もその方もヒーローの選手も」

安本 「行きたい選手おるかもしれませんね」

参加者 U 「なんかすごく難しいなって。」

安本 「ケガが起こるのが怖い。逆に走らないでくださいっていうのもね」

参加者 U 「はい、そこがあるので」

来住 「ご意見としては、はい」

安本 「一回もませていただいて。起きてからでは遅いのでね」

参加者 U 「スタッフとかはそのあたりは対応は？」

来住 「メインとバックに関しては完璧にはできてない。実際椅子の上を飛び越えていく子供もいるので。メインとバックに関しては階段のところにも人をつけています。指定席部分だけですが。いまのお話はゴール裏の話だと思うんですよね。ゴール裏が一番前がうちの通路になるのです。後ろから

危ないよと警備員が声をかけてはいると思うんですけど。ただ、すごい状態になってるとは」

参加者U「ゴール裏でもバックスタンドでも逆に前に人が溜まって進まないかなとか思うことも。前のほうに行くと人が溜まってちょっと進みにくいとおもうこともあるので。子供だからしょうがないかって感じながら」

来住「よく考えてみます」

参加者V「子供の対応でバック自由の時にあったんですけど、指定席が多くて、バック自由が少ないときに、警備員さんが小さい子供を指定席にロープを開けて行かしてるところを見たので、それだったらバックで見てる人があそこの一列でしかいれないから押しつぶされるという現象があるんでは。指定席の場合だと、ゆっくり見たいお客様がいらっしゃるんで、ガツガツ前で見に行こうっていう方も少なかったんで、そういう対応をしていた時にこれはなかなかいいなって。」

参加者V「それはどうですかね。それ指定取ってる意味がないっておっしゃられる方絶対いますよ」

参加者W「子供が一番前に来ると、子供の危険性っていうのが一番あるのかなと」

来住「そこは現場の判断。一番前はフロンティアシートというのを売っているんで、フロンティア買っていない方が一番前にくるとというのが問題になるので、頑張ってる人付けてやっているんですが、指定席エリアが広い時っていうのは一番サイドのほうはフロンティアシートがないんですよ。だから多分クレームを頂いていない余程すごく危険だったから、ちょっと一人だけ端っこに入れたのかなと思いますが。でも原則は本当は立ち入れないルールです」

清水「現場の安全が最優先です」

来住「そうですね」

参加者W「絶対だめだというわけではない。本当に危険だったらやむを得ない。」

清水「フロンティアの方に我々が起こられるべきです。」

来住「理由を説明して入れてあげべきだと思いますね。何にも言わずに入れたら怒ると思うんで。」

参加者X「Xと申します。最初の前段のルール・規定の改定というのは、されているとは思いますが、選手たちによくよくお伝えをいただきたいなと。」

大卒の選手とかはよく趣旨を理解していただけると思いますけれども、ユースの子とかもちろん地頭がいい子ばかりだと思うので理解してもらえると思いますけど、そういったことができてるのかとかきちんと物事を整理して伝えてあげてほしいと。我々のようなサポーターは好意で選手を支えているんですけど、浦和のような事例ではないですけども時にはそのようなトラブルに巻き込まれることもあるので、何がリスクなのかについては改めてよく整理をしてあげてほしいと思うことが一点。

もう一つはここまで安心・安全なスタジアムということでいろいろお話ありましたが、J2から昇格して

昨年と比べて動員が下がっていると、内訳についてはkrimzon様はいろんな数字をお持ちだと思いますが、明らかにスタンドの人の数が減っていることについて、社長あるいは安本さんがいままでどういう風に評価されているか少しお聞かせいただきたい。

個人的には、昇格ということを手くアナウンスできなかったことが原因かと、リセットしてもう一回上を目指すんだと、いいチャンスだと上手くアナウンスできなかったことが原因かと思ってます。それはクラブの広報であったり選手の PR であったり原因があると思いますが、少しでいいので端的に何が原因なのかということをお聞かせ願いたいと思います。

個人的に、いい雰囲気のスタジアムという意味で来年ヴィッセル神戸として 20 周年ということで一刻も早く残留を確定させて、上を目指すのは大事なことですけれども、来年どんな記念行事、プランをやっていききたいと思っているか、社長の考えアイデアをお聞かせいただければと思います。オーナーの思いであるとか、兵庫・神戸のスポーツにどんなふうに関与されて頑張っていくんだというところをどんなふうに表示されるのか、サポーターのひとりとして非常に楽しみにしております。

今シーズンでいうと、久々に土屋選手とかも来られる、来年 20 周年にはカズさんとかアツさんとか貢献してくれたいろんな選手の思いを我々が受け止められるのかと。細やかに拾っていただきたいとクラブに期待しているというようなところです。

あと記念試合はないのか。あるとしたらどこなのか。いま考えてないということなら結構なんです、そういったものを含めてアイデアをお聞かせいただければとおもいます。以上です」

来住「ちょっと安心・安全とは違う話題があるので、安心・安全の件でご意見ある方がいらっしゃったら、そちらを優先させていただければと思います。もしなければいまの件」

参加者 Y「安全快適なということで疑問に思っているのが、個人のことはんですけど処分というかゴール裏に入れ、自ら出ていったということがありますが、その理由、何をしたらあかんのか理由がわからない。曖昧な理由で。ゴール裏にも違う応援をしている人たちがたくさんいるのに、その人たちは何も処分を受けないのに、僕は何をしてこうなったのかわからない。ルールを教えて欲しい。明確にしてほしい。ヴィッセルが好きだから応援してるんで、それなのに実際何を悪いことしたのかわからないまま処分を受けているので、ここではっきり教えてほしいと思います」

来住「原則として、今回の趣旨というのが、応援。個別の案件に関してはメールでやりとりを…」

参加者 Y「個別じゃない。みんなが関わること。何をやったらだめなのかルールもないわけじゃないですか。僕に関しても何をやったのか。違う応援をしているわけでもないし。合わせて応援もやっている。違う応援をやっている人もいるのに、何も処分を受けない。何が違うのか。快適なスタジアムを作るところで、理由を明確にしてほしい」

清水「個別の事案には回答しないつもりだったのですが…」

参加者 Y「僕はでも社員 A さんに今日来て発言しろと。僕は行く気はなかったんです、最初は。個別だから。社員 A さんにここで発言するように言われて来たんで。それを言われると来た意味がないので。もともと来る気もなかったし、仕事忙しいので。そう言われたからわざわざ時間をあけて来た。社員 A さんはヴィッセルの社員さんですね、サポーター担当の。その方が来てここで発言しろと。」

清水「個別の事実とか事案についてここでご説明する…」

参加者Y「個別ではない。何をやったらあかんのか、いま教えてくれたらいい」

清水「明確なのは今日ご説明させていただいたルールを違反するとだめです。ご説明するまでもなく、ご理解をいただけたと思います。今回4つのカテゴリーのなかで3つ目のお話の中で申し上げましたけれど、個別の案件はこの場ではご説明しないと申し上げた際にご説明させていただいた内容ですね。意見の相違とか、対立とか、クラブから積極的に調整をしたいわけではないです。ただし、それが全体の安心・安全に関わる場合ということについては、両者のご意見をお伺いをした上で、クラブとして、約束事をさせていただいたり、こういうことをお互い心掛けてくださいということを、何度かお話しをさせていただいています。その上で、それが約束事がルールかどうかというのは、ここに記載させていただいているルールではないですが、それと違った行動があった場合は、こちらの方にはこうしてくださいという形で昨年から話を進めてきていると認識をしています。具体的な内容は皆様に申し上げることではないと思いますので、敢えて申し上げないですし、ご本人にはお話ししてますのでご理解いただいていると思います。

そういう意味で何かルールを破っているんですか、というご質問に関していくと、それはノーですね。今回記載させていただいているルールを破っているわけではないです。繰り返し、個別の事案に対して、本来クラブが調整する立場ではないと思いますけど、全体のために調整をさせていただいている中で、お互いに少しずつ約束をしていること、守っている、守っていない、それぞれの段階でクラブとしてはクラブの主観で最終的には判断をせざるを得ないです」

参加者Y「だけど約束してるっていうことお互い、守っている、破ってもいないし。僕たちがいぶきの森で選手の送り出しをした、それに対してあかん、勝手にそんなことすると言われてただけじゃないですか。お互いに約束したわけじゃない」

清水「それは別に我々もお願いしていませんし、そこが原因ではないですよ」

参加者Y「僕らはそれを聞いていないんで。それでなったと思っているから。説明もなかったし。約束とかじゃなくて、いきなりそういうことをやったと去年の3月に呼ばれて、入るなど。話し合いじゃなくていきなり決定事項を渡された」

清水「事前に両者にはいろいろお話しは…」

参加者Y「話はなかったですよ。3月1日に呼ばれてそれでいきなり決定事項と言われただけ。事前にというのは、やった時に後にすぐだったらわかるんですけども、何もなく3月1日に呼ばれて決定事項と言われただけです。話し合いじゃないです」

清水「そこは参加者Yさんにご認識が違うところですね」

参加者Y「話し合いに呼ばれてませんよ、僕」

清水「周囲の方も含めて情報は収集させていただいております」

参加者Y「情報は入ってないよ、話し合い、約束事っていうのがあるってなかったですからね。いきな

り来てクラブに呼ばれてボンと言われただけですからね。あの時は清水さんいなかったけど、去年の3月の時点。でも僕は10月のには呼ばれていないので行ってないけど、他の人が呼ばれて、10月は清水さんもおって話したって他のほうから聞いているけど。その時は社長印も押した文書もらった」

清水「それはまた別の事案の話ですね」

参加者Y「はい。僕が行った3月は紙ももらってないし。だからその辺の差って何なのかと。結局曖昧なままで、結局僕が個人でいろんな行動するのが嫌なだけで処分されてるのかと思ってしまった」

清水「というふうに思い込まれてしまってるのではないかとこちらでは思います」

参加者Y「でも思っちゃいますやんか。他の人がいろんなことやってるし。」

清水「Aというやり方が問題であるとか、Bというやり方が問題であるということではなくて、意見が相違している状態で平和的にお話しがいただけない状態が問題で、その問題について・・・」

参加者Y「平和的な話ってどういう。僕たちが不平和なことをやったのか、何かあるんですかね」

清水「こちらで兆しとして判断させていただくしかないです」

参加者Y「僕らがユースの応援・・・」

清水「いや、別にそれが原因ではないです。」

参加者Y「原因ではないですよ。では何が原因。何がだめなんですかね。」

清水「いまのこの話し合いのされ方も非常にちょっと対立的ですよ。こうしたものが積み重なっていくと、お互い相当ストレスがたまって、かなり衝突される可能性が高まるというのは、他の方とお話しをされているのを拝見していてもそういうふうに感じるのが正直なところです」

参加者Y「だから、この前も名古屋で、去年までは普通にアウェイで応援していたのに、入場した途端、バンて入ってここから入るなって言われたんです。そんなことはいままではなかったから・・・」

清水「個別の事案を申し上げないって申し上げたのは、いまみたいな事実の話は、ある側から見るとそういうご説明だと思いますし、逆の側から見ると別のご説明だと思います。なのでそこを1個1個イエス・ノーと言っていると、多分キリがない。実際の場面で30個、40個あると思うので、この場で皆さんの時間を使ってそういうことをやる場ではないとおもいますので。そこは別の場で」

参加者Y「来ないって言ったのに、社員Aさんが行って言えと言われたから僕は言っただけなんです。でも僕は今は言われた通りに、清水さんわかってると思うし、僕はいまできる応援をやっているし、怒っていないんで」

清水「そうした意味で、お越しいただいてご意見をいただいていることはありがたいです」

参加者 Y「僕はいまできることをやっているの。ただ社員 A さんに言われているから来ているだけで。いまはクラブから言われた通りのできる範囲の応援をやっているの。ここで発言しないと二度と言えないよ、とか言われたから来ただけで…」

参加者 Z「不満がないんだったらやめましょうよ」

参加者 Y「申し訳ないです」

清水「繰り返しになりますけれども、最後はクラブとして判断せざるを得ないので申し上げますけれども、A というやり方、B というやり方どちらに肩入れしているわけではなくて、クラブとして都度都度、刻んで話をさせていただいてるつもりなので。スタートのところの御質問に戻ると、何かルールを破っているから現状の状況ということではなく、経緯があるからこうなっているということだと思っています。繰り返し、お越しいただいてご意見いただいていることは本当にありがたいことです。社員 A もそうした意味でお越しくさるようにならしたのだと思いますし。いまおっしゃっていただいた以外のことで、こうしたらヴィッセルの応援が盛り上がるとかよくなるとかいう意見はシャットダウンするものではありませんので」

参加者 Y「僕も理解してやっているの。ただ来るように言われたから。言われた通りやっていくの。不満がないと言うと嘘になるけど、いまの現状で楽しんでできてるんで。意見が聞けるんだったら来ようと思っただけです」

清水「個別の細かいことだったら別の場で」

参加者 Y「それは社員 A さんにもまた作ってくれるように言われたので。すみませんでした」

清水「いえ、とんでもないです。ありがとうございました」

安本「動員のところですね。今季 J1 に復帰したところの期待値のところ、みなさんの期待値、我々の期待値、前半何試合か、3〜4 試合の動員のところ。ナビスコは除きます。リーグ戦の話でいきますと、実は平均とると、去年の平均数なんです、ほとんど。去年は 1 万 1 千 5 百何人だったんですが、ちょっと上回っているくらい。大きく下がっているとは思っていないんですが、我々今年は 1 万 5 千人目指していますので、そこから比べると出足良くないと正直思っています。それはなぜなのか、我々のメディアへのアプローチが足りなかったのか、『GOGO ヴィッセル』で、といった今のメディアだけじゃなくて、新聞・雑誌でそういうところが弱かったのではないかと思っています。この結果を改めて見直す。例えばもっと取材にきてもらえるようなことをするとかも大事だったのか。幸いこの中でも『すぽると』にしても『やべっち』にしてもようやく神戸が話されるようになってきた。成績ではないという思いがあったんですが、やはり成績が非常に大きいと思っていますし、本当のクラブのところと思っています。今年 27 万人ほど目指しているんですが、前半ちょっと平均よりよくなかったけれどもここから取り返していきたい。良い順位でセレッソ、広島迎えますし、ちょうどセレッソの裏で鹿島と広島が戦っている、こんな最高の機会はないわけで。そこは便乗していきたいとおもいます。引き続き、地域での取り組みですが、神戸の町にヴィッセルが溢れるチームを作ろうと社員と話して。ここの取り組みを頑張っていきたい」

参加者AA「メディアですけど、Jリーグがゼロックス（富士ゼロックススーパーカップ）やる時にマスコット集めてますよね。ヴィッセルは地域の祭りでモーヴィくんを…」

安本「はい、存じ上げています」

参加者AA「全国区メディアに出るチャンスだと思うんですよ。その辺も1つじゃないかと思うんですが」

安本「その辺、僕も出さないといけないという話しと、地域のほうでモーヴィ出さすべきという話と。それもたまたまある人から言われて、出してないのっていうのがあったのは事実。モーヴィもミッキー・マウスと同じ扱いしています。『加古川にいたのに東京におるで』みたいなのが無いようにしている中で、指摘としては、ゼロックスに行かしたほうが良いとの意見も理解しておりますので。答えになってないかもしれませんが、事案は認識しています。20周年も、現在鋭意企画中です」

清水「動員のほうから申しますと、数字はいま安本が申し上げた通りで、強がっているわけではなくて、それほど下がっている認識はないです。ただ期待している、いかなければいけないところに届いていないという。もっと増やしていかなければいけないと思っています。

たまたまセレッソがあるからではなくて、元々そういう計画だったんですが、セレッソが終わったところで、ホームゲームがスタートから5試合終わることになるんですが、そのホームゲーム5試合のJ1での平均通り、過去のJ1と比較して、過去5年の中で一番アベレージが多くなるようなプランを組んでやっています。3月は結構難しくて、試合の日程が決まるのが1月の末で、3月の7日に試合があるのか1日に試合があるのかみたいな、かなり**レッドタイム**が短いので、開幕は盛り上がるんですが、そのあとのホームゲームって割と難しいんです、プロモーションが。なので、このタイミングはどうしても下振れしてしまう事情は元々あります。その上でも我々のプランよりもちょっと下振れしているので、そこはいま底上げをやっていかなければいけないところと考えています。

ちょっと下振れしているので改めて実施をしてみて、安本も地域みたいなお話を申し上げたんですけども、ナビスコのFC東京戦でこのスタジアム近隣の方のご招待をさせていただきました。時間がない中かなり駆け込みでさせていただいたんですけども、本当にたくさんの方、通常の3倍くらいの率でご来場をいただけて、実は我々も身近なところも含め、しっかり接しているつもりだったが、接せていないことが結構あるんじゃないかなって、改めて反省もしているところです。この近隣の地域は1つの例ですが、それ以外ももしかしたら、ずっと知ってもらっていると思っているけど我々の存在が届いていないところはまだまだあると思うので、そこへのアプローチ、招待に限らずですね、いろんなアプローチというのはしっかり考えたい。

今年はかなり変則の日程で、ワールドカップ開けの頃から、結構ぐっと伸ばせる企画をいま打ち込んでいるところなので、それに加えてチームもいい成績を出して結果を出してくれているので、かみ合ってくれば、1万5千人は必ず達成できる数字だと思います。1万5千人になるようにいま準備をしているところです。

20周年記念のところは、いまピンポイントでお話があったような企画も含めて検討しているところです。1.17もそうですし、神戸の20年というところは意味合いが他のクラブの20年と違うと思いますので、どんなものができるか。記念試合のような形も1つの案かもしれません。スタジアムだったり、試合をするなら相手はどこかとか詰めていかないといけない。それ以外も含め、ヴィッセルらしい20周年の企画ですね。神戸の震災から20年、それはヴィッセルとして取り入れるべき考えだと思いますし、そ

うしたものも含めた神戸らしい記念企画をいま準備しています」

参加者 B B「動員のことでよろしいですか。小学校とかで人権カードとか配ってますが、あれにヴィッセルの選手がのっています。子供でもヴィッセルがわからない子が多い。知名度がない選手が多いので。その選手が写っている時に、その小学校に訪問したりして選手が配るとか。サインとかしたら、選手が来たら絶対話しををすると思うんですね。そういうことはできないのかなと。
あと小学校入学したら連絡袋モーヴィがもらえと思うんですが、すぐにはできないですが、モーヴィが行って一年生の歓迎会とかに出してあげるとか。やっぱりマスコットは人気があると思うから。袋のマスコットが来たら家に帰って話をする。スタジアム行ったら見れるよ、みたいなことができないのかな」

清水「人権カードおもしろいですね」

安本「配って終わっているから」

参加者 B B「僕の息子も貰って帰ってくるんです。それだったら選手が、写っている選手が配ったら良いんじゃないでしょうか。難しいと思うけれど。小学校に行った時にしたらええかなと。知名度をもっとアピールできたら」

清水「モーヴィは入学式に行っていますね」

来住「入学式は毎年1つの学校に行っています。贈呈式をやっています」

参加者 C C「先ほどの観客動員とマスコミ対応についてですが、前からこういう会で言わせてもらってもらっていることがあって、少し話をきいたこともあるんですが、関東では J リーグがお金を出して、J リーグ開幕のプロモーションをやっていたらしく、一クラブがやらなくても J リーグがやってくれている。それに比べて関西はスポーツの面では阪神という勝ち組があって、何もしなくても向こうからメディアが追いかけてくれる。ヴィッセルは今年は強く魅力的なサッカーができてからマスコミに取り上げられるようになったというのはあると思うんですけど。サッカーが日常で、ヴィッセルに限らず、マスコミっていうのが少ないというのが現実だと思うんです。結局は相手がないとリーグ戦はできない。トムとジェリーの関係なんですよ。仲良くけんかして感じで。関西が他のところと違ってつらいのが、関東も一緒なところがあると思うんですが、例えば新潟とか九州とか長野とかは、各県にマスコミがあって取り上げてもらいやすい。関西は大阪にしかないから、これが全国になると東京にしかなくて、なかなか取り上げてもらえない。

ただヴィッセルはオーナーが三木谷さん、お金はあるのかもしれないですが、京都にしろ、ガンバはパナソニック、セレッソは日本ハムにヤンマー、京都は任天堂とか京セラとか世界に冠たる企業がついている。そういうところが集まって自分たち J リーグを知ってもらわないといけないと思うんです。

関西って3千万人くらいいるが、J リーグに関心ある分母が少ないと思うんです。それはやはりマスコミに流れないから。阪神なんかは朝のワイドショーでも勝手にやってくれる。ヴィッセルに限らず、サッカーはそういうのが少ない。なかなか難しいと思うが、協力しあって J リーグを巻き込んで、例えば、人気のある具体的におはよう朝日のコーナーをひとつ買ってとか、大きい話ですけど、毎日 J リーグの話題ができるようにしていくとか。そういう協力、サッカーをみんなに知ってもらう。

お客様に来てもらおうと思ったら、週末のアクティビティに選んでもらおうと思ったら、関西は USJ

もあるし、いろんなところから、映画観にいくなどから選んでもらわないといけない。

私はここから歩いて 5 分のところに勤めているんですが、ナビスコなんかでも、「今日サッカーやっているの？」って、ここから 5 分のところに勤めているひとが知らないんです。やはりそれは人気がないってこと、まだお金がないってこと、各クラブはお金がないかもしれないですけど、働きかけてそういうふうにはできないかなと。そういう動きってないんでしょうか」

安本「この前ブログにも書きましたが、チェアマンが来てメディア懇親会をしました。過去最高のメディアの数が集まりまして、もちろん村井チェアマンが注目されているというのはあるんですが。そこで村井チェアマンが、基本的に J リーグが出した数字は西高東低ですと。変わってしまった。昔は東京主体、浦和が動けばお客さんが来るという時代から、ああいうことがあったのも原因の 1 つだと思いますが、フォルランにしろ、柿谷にしろ、セレッソの人気が上がってきている。セレッソは前半の試合は 170% 増。うちの話もされまして、J2 だったからというのものもあるんですが、去年この時期に北九州戦があったからだと思いますが、ヴィッセルも 150%、ガンバも 150% 伸びています。僕が謙虚に、それは J2 だから、2012 年見ていますから、そこで喜んでいるわけではありません、という話をさせていただいたんですが。そこに 90 人くらいのマスコミの方が来られてまして、そこに朝日放送も毎日放送もいましたし、サンテレビも朝日新聞もいろいろいましたので、記者のみなさんサッカーのことをちゃんと書いてくださいねと、フォルランの人気だけのことじゃなくて。

もうひとつは社長とお話しをしたなかで、テレビ局のひとに来てもらおうと、メディアのひとに見てもらうことが大事だと、意図的に記者にリポーターにパーソナリティにこの日に見に来てくださいと。芸能界でよくあるベタなプロモーションみたいなことも取り入れていこうかと。ただ誰にでも来てほしいということではないんです。目星をつけたなかで、『ちちんぷいぷい』なのか『おはよう朝日』なのか、というところをやっていききたいなと。この前三浦アツが『すぽると』できてくれたことは非常に僕らにとっては大きい。ああいう OB がいてよかったなと。もう 1 つは OB をうまく使いたいなと。実は去年 OB 会を作ろうかと。野球はあるんですよ OB 会。サッカーは聞いたことがない。OB 会を作って情報をキャッチアップできるような仕組みを作っていこうと。まだできていませんけれど、そんなことを考えております。」

参加者 DD「アピールのところで質問させていただきたいんですが、ちょっと前まで三宮のダイエーのところにヴィッセルのショップみたいなのがあったんですが、いつのまにか無くなってしまっていて。ヴィッセルさんのほうで、例えば申し訳ないのですが、オリックスバファローズだと交通センタービルに定期的に店舗を出されているじゃないですか。ヴィッセルさんもスポンサーが楽天ということで、ネット上では楽天市場とかで出されているんですが、ネットでグッズを調べるのと実際ものを見たりするのは違うと思うんです。三宮か新神戸駅か神戸空港か神戸市役所、神戸ハーバーランドとか人目のつくところに定期的に店舗を出していただければとおもいます」

安本「できるかどうかわからないんですが、今検討は行っています。新神戸ではないです」

参加者 DD「昔ありましたね」

安本「グッズ、オリックスのいい店があそこにあって、未だにイチローグッズを売っているのはどうかと思ったりするんですけども（笑）、でもあそこにあるというのはひとつのシンボル。ヴィッセルのものが売っているというのは、実際見たら、購買意欲もできるんじゃないかなと。一方、グッズだけで果たしていけるのかと。飲食もしたほうがいいんじゃないかとか。チケットも売ったほうがいいんじゃない

ないとか、そこはいま幅広に検討しています。ただ実現するまでにはもう少し慎重に。一番だめなのは、やりました、たたみました。やっぱりあかんかったかというのが一番マイナスなので」

参加者DD「楽しみにしています」

安本「はい。ちなみに楽天イーグルスは仙台駅にグッズショップがあって結構栄えてます。国分町っていう、大阪でいう北新地とかミナミみたいな場所があって、スポーツバーを今年から始めまして、サッカーも流しているらしいです、楽天イーグルスの試合も流して、いわゆるパブリックビューイングの小さい版みたいなところ。そんなことも取り組んでいるらしく」

来住「そろそろ最後くらいに」

参加者EE「岡山県から応援をするために来ているんですが、数年前までは神戸市くらいしかアピールしている感じがなくて、兵庫県全体でっていうところで、ようやく義士祭にモーヴィが来てくれて、ヴィッセル子供たちにも結構あったんです。楽天イーグルからみたいな認識なんです、うちのところは。くじとかあって引いたりしてたんですが、感じたのが、来てるだけっていう印象があって、神戸のスタジアムはここからどう行ったらいいとか、いいスタジアムっていうアピールをしてなかったのかなと。いま成績が良いので、友達から聞いたんですけども、『広島戦見にくわ』というようなことがあるんで、遠くからでも掘り起こせるとは思います。放置していると岡山から県境なので、侵攻される、早めに兵庫県全体は神戸のものだ、ヴィッセルのものだということをしていただけたら。プロモーションとかアピールとかをお願いしたいところはあります」

安本「行くだけにならないように、しっかり担当社員とモーヴィにご意見を伝えます。

ちなみに余談ですが、今度のセレッソ戦で、わかる範囲で地域の購入データを見ましたが、岡山は意外と3番目。兵庫、大阪、岡山。岡山から応援に来られている方は結構セレッソ戦に多いんです。いろいろデータを見ると、ヴィッセルだと信じたいですね」

来住「では、最後安本よりご挨拶します」

安本「今日は平日水曜日にお忙しい中、我々のために来ていただきましてありがとうございます。。いろんな話が出ましたが、ヴィッセル 20 年目のシーズンですが、完成された状態ではないと思っています。いろんな取り組みをやる中で、トライアンドエラーを繰り返しながら、とにかく J リーグの中で最も良いクラブを目指したいと思っています。応援のこともそうですし、チームのこともそうですし、スクールもアカデミーもそうです。サポーターのみなさん、ファンのみなさん、スポンサーのみなさん、とにかくみんながヴィッセルを応援してよかったと思ってもらえるような、ヴィッセルが好きだと言ってもらえるようなそんなクラブにならないといけないと思っています。

街にヴィッセルが溢れている、まだまだ御崎公園、和田岬がヴィッセルで溢れているかということ、そこまでやっぱり至ってない。その中で、じゃあ、我々本社の社員が何ができるのか。社員 25 人でポスティングも手分けして行いました。ヴィッセルの今までの考え方は、自分たちでできるところまで頑張ろうという考え方でこの 19 年やってきたというのが正直なところです。去年 J2 だったのでいろんなクラブに行くことでしたんで、愛媛とか長崎とか松本も行きました。やっぱりファン・サポーターを巻き込んでるんですね。自分たちでポスター貼りやろうと言っているんですが、例えばセレッソ戦のチラシを配るときに、サポーターのみなさんの有志を募ってやっていただくとか、ポスターをみなさんと一緒に

貼りに行くとか。実は僕はサポーターのみなさんに甘えたらあかんという気持ちのほうがどちらかというと強くて、それこそ一緒にやっていくとか、何回かそういうふうにやっていけたらとか思ってます。チームはここまでは良い調子ですが、それをずっと最後までキープできるようにクラブとしても応援したい。今日貴重なこの2時間20分くらいいただきましたが、1つ1つ答えを出せるようにやっていきたいですし、今日に限らずご意見を、メールアドレスも公開しているわけですから。気がついたらいつでも24時間365日ご意見いただけましたらと考えてますので、引き続きヴィッセル神戸、とにかくタイトルを狙っていますので、応援を宜しくお願いいたします」

清水「ありがとうございました」

(会場拍手)